

表 健康体育学科：特別支援学校教諭一種免許状の科目表と内容

科目	科目名	単位数	中心となる領域 (含む領域) 《備考》	授業の概要
特別支援教育の基礎理論に関する科目	特別支援教育概論	2	＼	特別支援教育に携わる教師として必要な人間観・教育観を形成し、特別支援教育を推進するための基礎・基本的事項を学ぶ。授業は、特別支援教育の理念とシステムから、障害のある生徒の理解と指導・支援、さらに保護者や関係機関との連携について解説する。
免許状に定められることとなる特別支援教育領域に関する科目	肢体不自由者の心理・病理・生理	2	肢体不自由	人体における運動の発現とその制御機能について、骨・筋の構造と機能、運動中枢（神経）の構造と機能について肢体不自由の原因として脳性麻痺を中心に概説する。肢体不自由児の感覚・認知面等の基礎的能力の発達を教育的視点からどのように理解するか、心理学・医学的な背景を含めて解説する。
	病弱者の心理・病理・生理	2	病弱	病弱と身体虚弱の違い、健康障害（病弱）児教育の対象になる疾患の種類と各疾患の生理と病理及び病気の治療過程にある子どもの心理的体験について概説する。
	肢体不自由教育論Ⅰ	2	肢体不自由	肢体不自由児の特別支援学校では、障害の重度・重複化、多様化の傾向があり、幼児・児童・生徒の一人一人の実態に対応した取り組みについて考え、学ぶ学習内容となっている。また、肢体不自由教育の歴史、今日的課題を概説し、教育課程や指導法、授業づくりについて特別支援学校学習指導要領をもとにして解説する。
	肢体不自由教育論Ⅱ	2		肢体不自由のある子どもが持てる力を最大限に発揮して学習を受けるために必要な指導法について概説する。そのうえで、障害の状態に応じた運動指導の実践について体験的な活動を取り入れつつ概説する。
	病弱教育論Ⅰ	2	病弱	特別支援教育における健康障害（病弱）教育の目標、教育課程、教科や自立活動等の指導法、支援法に関する基礎知識について概説する。
	病弱教育論Ⅱ	2		病弱のある子どもが持てる力を最大限に発揮して学習を受けるために必要となる指導に当たる際の基本的事項について概説する。そのうえで、病気の状態に応じた運動指導の実践について概説する。
	肢体不自由教育総論	2	肢体不自由	肢体不自由児の教育を担当する教員として身に付けておかなければならない、病理・生理・心理的障害特性を踏まえた教育課程及び指導法について、実習や課題発表、グループ活動の学習形態を用いながら、概説する。
	病弱教育総論	2	病弱者	病弱児教育の歴史をふまえ、今日の病弱児教育の対象・場の特徴を整理し、健康障害（病弱）児の教育的ニーズと学校教育の意義を理解する。そのうえで、健康障害（病弱）児の病理・生理・心理特性に配慮した教育内容・教育方法・教育課程について概説する。
免許状に定められることとなる特別支援教育領域以外の領域に関する科目	障害児の心理・生理・病理Ⅰ	1	知的障害 (聴覚・視覚障害)	知的障害児の生理・病理および心理学的問題について解説し、基礎とそのことが発達や学習に及ぼす影響に関して学ぶ。視覚・聴覚障害についてもその特性を概説する。
	障害児の心理・生理・病理Ⅱ	1	重複・LD等領域 《言語障害》	発達障害の生理・病理および心理学的問題について解説し、基礎とそのことが発達や学習に及ぼす影響に関して概説する。
	障害児教育論Ⅰ	1	知的障害	知的障害、視覚障害、聴覚障害の教育的ニーズと課題を理解し、特別支援教育における教育課程及び指導法について概説する。
	障害児教育論Ⅱ	1	重複・LD等領域 《言語障害》	LD・ADHD・自閉症等の障害特性の理解と個のニーズを学び、具体的な指導法について体験的に学ぶ。
	障害児教育総論	2	重複・LD等領域 (知的・視覚・聴覚障害) 《情緒障害・言語障害》	肢体・病弱障害以外の病理・生理・心理的特性に応じた教育方法について理解し、特別支援学校免許状を取得する者としての総合的な資質能力を確認する。特に、自閉症スペクトラム児への支援を具体的に学び、他の障害のある子どもに対する教育方法にも汎用できる能力を培う。
心身に障害のある幼児、児童又は生徒についての教育実習	特別支援教育実習	2	＼	特別支援学校での児童生徒との係わり方、児童生徒の実態把握・指導案作成・教材作成・授業実践・評価・学級経営等、教員に求められる基礎基本を修得する。事前指導では実習目的・態度等の基本的な事項について、事後指導において、学生は教育実習を振り返り、自らの課題達成状況や新たな課題を明確にする。